【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成30年10月18日(2018.10.18)

【公表番号】特表2018-520757(P2018-520757A)
【公表日】平成30年8月2日(2018.8.2)
【年通号数】公開・登録公報2018-029
【出願番号】特願2017-565168(P2017-565168)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｊ　1/05　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　21/02　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　81/32　(2006.01)
Ａ６１Ｊ　1/16　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｊ　1/05　３５１Ａ
Ｂ６５Ｄ　21/02　３０１
Ｂ６５Ｄ　81/32　Ｔ
Ａ６１Ｊ　1/16
Ａ６１Ｋ　39/00　Ｊ
Ａ６１Ｋ　39/12

【手続補正書】
【提出日】平成30年9月7日(2018.9.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
取り出し開口部（Ｅ１，Ｅ２）を備える少なくとも１つの容器（Ｂ１，Ｂ２）を有する容器システム（Ｂ）であって、
前記容器（Ｂ１，Ｂ２）は、前記取り出し開口部（Ｅ１，Ｅ２）から離れた側に、前記取り出し開口部（Ｅ１，Ｅ２）を形成する前記容器（Ｂ１，Ｂ２）の領域のための保持デバイスを含む取外し可能なキャップ状カバー（６）を備え、前記容器が前記取り出し開口部（Ｅ１，Ｅ２）を形成する領域で前記保持デバイスによって保持される場合に、前記カバー（６）を前記容器（Ｂ１，Ｂ２）のための支持脚として使用することができ、及び／又は
前記容器（Ｂ１，Ｂ２）は、前記取り出し開口部（Ｅ１，Ｅ２）から離れた側に、前記容器（Ｂ１，Ｂ２）に解除可能に接続された取外し可能なキャップ状カバー（６）を含み、前記カバー（６）は、前記容器（Ｂ１，Ｂ２）から離れた側に、保持デバイスを含み、前記カバーが前記容器（Ｂ１，Ｂ２）から外されて除去された後で、前記カバー（６）は、前記容器（Ｂ１，Ｂ２）が前記取り出し開口部（Ｅ１，Ｅ２）を形成する前記領域で前記保持デバイスによって保持される時に前記容器（Ｂ１，Ｂ２）のための支持脚として使用可能である、
ことを特徴とする容器システム（Ｂ）。
【請求項２】
前記保持デバイスは、連結係合及び／又は摩擦係合によって、前記取り出し開口部（Ｅ

１，Ｅ２）を形成する前記容器（Ｂ１，Ｂ２）の前記領域を保持するように構成され、その結果として、前記カバー（６）は、前記容器（Ｂ１，Ｂ２）のための支持脚として使用することができることを特徴とする請求項１に記載の容器システム。
【請求項３】
前記カバー（６）は、前記容器（Ｂ１，Ｂ２）の前記取り出し開口部（Ｅ１，Ｅ２）から離れた側で、保持することができることを特徴とする請求項１又は請求項２に記載の容器システム。
【請求項４】
前記容器システム（Ｂ）は、輸送目的のために互いに着脱可能に接続することができる少なくとも２つの容器（Ｂ１，Ｂ２）を含み、別の第２の容器（Ｂ２）の前記取り出し開口部を形成する一部分又はボトルネック（Ｆ１、Ｆ２）を前記キャップ状カバー（６）の前記保持デバイスによって保持することができることを特徴とする請求項１から請求項３のいずれか１項に記載の容器システム。
【請求項５】
取り出し開口部（Ｅ１，Ｅ２）を各々が含む少なくとも２つの容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）を有する容器システム（Ｂ）であって、
前記容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）は、それぞれの前記取り出し開口部（Ｅ１，Ｅ２）から離れた側に、前記容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）間に流体接続（２）を提供するための接続構造（３Ａ，３Ｂ，３Ａ’，３Ｂ’）を含む、
ことを特徴とする容器システム（Ｂ）。
【請求項６】
初期状態にある前記容器（Ｂ１，Ｂ２）及び／又は前記接続構造（３Ａ，３Ｂ，３Ａ’，３Ｂ’）は、互いに別々に生成して使用することができ、及び／又は前記容器（Ｂ１，Ｂ２）間の前記流体接続（２）の形成の後で、前記容器（Ｂ１，Ｂ２）は、非分離的に又は解除不能に接続されることを特徴とする請求項５に記載の容器システム。
【請求項７】
前記取り出し開口部（Ｅ１，Ｅ２）は、繰返し使用する及び／又は再密封することができ、及び／又は
前記接続構造（３Ａ，３Ｂ，３Ａ’，３Ｂ’）は、一度だけ使用することができ、及び／又は不可逆的に開放可能であり、及び／又は
前記流体接続（２）は、持続的及び／又は不可逆的である、
ことを特徴とする請求項５又は請求項６に記載の容器システム。
【請求項８】
前記接続構造（３Ａ，３Ｂ，３Ａ’，３Ｂ’）は、相補的に又は対応する方式で相互開放され、それによって前記連続的な流体接続（２）を生成するように構成されることを特徴とする請求項５から請求項７のいずれか１項に記載の容器システム。
【請求項９】
前記接続構造（３Ａ，３Ｂ，３Ａ’，３Ｂ’）は、互いに軸線方向に挿入するか又は嵌め込むことができ、及び／又はネジ山なしで構成されることを特徴とする請求項５から請求項８のいずれか１項に記載の容器システム。
【請求項１０】
請求項５から請求項９のいずれか１項に記載の容器システム（Ｂ）の使用であって、
第１の容器（Ｂ１）が、第１の疾患に対する第１のワクチンを含み、
第２の容器（Ｂ２）が、前記第１のものとは異なる第２の疾患に対する第２のワクチンを含み、
前記容器（Ｂ１、Ｂ２）の各々が、異なる疾患に対する同時免疫化に関する複合ワクチンの調製のため、前記容器（Ｂ１、Ｂ２）間に流体接続を提供する接続構造（３Ａ，３Ｂ，３Ａ’，３Ｂ’）を含み、
前記容器は、前記複合ワクチンを形成するために、前記第１のワクチン及び前記第２のワクチンが混合されるように前記接続構造（３Ａ，３Ｂ，３Ａ’，３Ｂ’）によって互い

に流体接続される、
ことを特徴とする使用。
【請求項１１】
容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）と別の容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）との間に流体接続（２）を提供するための接続構造（３Ａ’，３Ｂ’）であって、初期状態では接続構造（３Ａ’，３Ｂ’）が、開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）内に流体密封され、そして流体接続（２）を生成するために開くことができ、接続構造（３Ａ’，３Ｂ’）が、カバーデバイス（６，２６）であって容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）又は接続構造（３Ａ’，３Ｂ’）に係止することができ、及び／又はキャップの形態にあり、及び／又は取外し可能であり、そして前記開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）を覆う、カバーデバイス（６，２６）を含み、
前記カバーデバイス（６，２６）は、支持部分（４６）を含み、これは、前記開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）に対応し、そして前記開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）に直接的に又は非常に接近して隣接することで、前記支持部分（４６）の方向に前記開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）上に作用する力（ＦＳ）が、前記開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）の少なくとも一部が前記支持部分（４６）上に接触することによって吸収され、前記開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）の開放が防止される、
ことを特徴とする接続構造（３Ａ’，３Ｂ’）。
【請求項１２】
前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）は、前記容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）の壁上に少なくとも実質的に剛的に保持することができ、及び／又は前記接続構造（３Ａ’，３Ｂ’）上に保持されることを特徴とする請求項１１に記載の接続構造。
【請求項１３】
前記開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）は、初期状態では密封的に保持され、そして開放状態では移動されているか又は少なくとも部分的に除去されているクロージャプレートを含むことを特徴とする請求項１１又は請求項１２に記載の接続構造。
【請求項１４】
前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）は、前記クロージャデバイス（２３，３３）に対応し、及び／又はそれに隣接して配置されることを特徴とする請求項１１から１３のいずれか１項に記載の接続構造。
【請求項１５】
前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）は、前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）に向けた前記クロージャデバイス（２３，３３）の移動が、平坦な接触及び／又は前記クロージャデバイス（２３，３３）の傾斜に逆らう接触に至るように、前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）に面する前記クロージャデバイス（２３，３３）の側面に少なくとも実質的に平行である及び／又はそれに対応するように構成された及び／又は位置合わせされたプラトーによって形成されることを特徴とする請求項１１から１４のいずれか１項に記載の接続構造。
【請求項１６】
前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）は、外側からアクセス可能であるレセプタクル（１３）、窪み（４７）、又は凹部、のベースにより、前記容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）上に装着することができるキャップ状カバーデバイス（６，２６）のベースによって形成され、
前記レセプタクル（１３）は、前記レセプタクル（１３）に受け入れることができる前記容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）のボトルネック状の取り出し部分又は取り出し開口部（Ｅ１，Ｅ２）に対応する、
ことを特徴とする請求項１１から１５のいずれか１項に記載の接続構造。
【請求項１７】
前記支持部分（４６Ａ、４６Ｂ）は、前記カバー（６，２６）が前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）上に作用する力（ＦＳ）を前記容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）の前記壁の中に逸らすために硬くされるように、補強要素（４８）によって強化されることを特徴とする請求項１１から１６のいずれか１項に記載の接続構造。
【請求項１８】

前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）は、軸線方向の又は中心軸及び／又は対称軸（９）の方向の移動又は変形に対し、傾斜又は少なくとも実質的に円錐形のストリップ（４９Ａ，４９Ｂ）によって支持されることを特徴とする請求項１１から１７のいずれか１項に記載の接続構造。

【請求項１９】

前記カバーデバイス（６，２６）は、密封構造（３９）によって前記容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）及び／又は前記接続構造（３Ａ’，３Ｂ’）の上に密封され、一方、前記密封構造（３９）は、前記開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）に面する前記支持部分（３９）の側面を閉め切り、及び／又は

前記密封構造（３９）は、前記容器壁上の前記カバーデバイス（６，２６）の密封及び／又はラッチング装着に加えて提供され、その結果として、前記密封構造（３９）及び／又はチャンバ（３８Ａ，３８Ｂ）によって互いに分離された容積（４０Ａ，４０Ｂ，４１Ａ，４１Ｂ）が、前記容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）に取り付けられた前記カバーデバイス（６，２６）内に形成される、

ことを特徴とする請求項１１から１８のいずれか１項に記載の接続構造。

【請求項２０】

前記カバーデバイス（６，２６）は、ストリップ（５１Ａ，５１Ｂ）を含み、これは、前記カバーデバイス（６，２６）のベースと前記容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）、前記接続構造（３Ａ’，３Ｂ’）、又は前記接続構造（３Ａ’，３Ｂ’）に隣接する部分との間で前記カバーデバイス（６，２６）の壁から分離して延び、前記ベースが前記ストリップによって支持されることを特徴とする請求項１１から１９のいずれか１項に記載の接続構造。

【請求項２１】

容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）間に流体接続（２）を形成するように構成された接続構造（３Ａ’，３Ｂ’）を覆うためのキャップ状カバーデバイス（６，２６）を有する容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）であって、前記カバーデバイス（６，２６）が、側壁（５０Ａ，５０Ｂ）と前記側壁（５０Ａ，５０Ｂ）に隣接するベース（５１Ａ，５１Ｂ）とを含み、前記側壁（５０Ａ，５０Ｂ）上には、連結係合及び／又は摩擦係合によって容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）上にカバーデバイス（６，２６）を解除可能に保持するための保持デバイスが提供され、

ａ）前記カバーデバイス（６，２６）は、前記接続構造（３Ａ’，３Ｂ’）の開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）又はその一部を支持するための支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）を含み、及び／又は

ｂ）前記ベース（５１Ａ，５１Ｂ）は、前記ベース（５１Ａ，５１Ｂ）を支持するように構成されたストリップ状部分（４３Ａ，４３Ｂ）を含む、

ことを特徴とする容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）。

【請求項２２】

前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）は、補強要素（４８）によって支持されるか又は強化され、それによって前記カバーデバイス（６，２６）は、前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）上に作用する力（ＦＳ）を前記容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）の壁の中に逸らすように構成されることを特徴とする請求項２１に記載の容器。

【請求項２３】

前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）は、前記ベース（５１Ａ，５１Ｂ）に設けられたレセプタクル（１３）及び／又は窪み（４７）によって形成されることを特徴とする請求項２１又は請求項２２に記載の容器。

【請求項２４】

前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）は、容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）の開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）に直接隣接して又は非常に接近して配置されることで、前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）は、前記開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）のための当接部を形成し、及び／又は前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）の方向に前記開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）上に作用する力（ＦＳ）が、前記支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）上への前記開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）の少

なくとも一部の接触によって吸収される及び／又はそれを逸らすことができることを特徴とする請求項２１から請求項２３のいずれか１項に記載の容器。
【請求項２５】
外力の影響による偶発的な開放に対して保護するために、容器（Ｂ１，Ｂ２，Ｂ３）の開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）に直接隣接して又は非常に接近して配置されることで、支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）の方向に前記開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）上に作用する力（ＦＳ）が、支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）上への前記開口領域（４Ａ’，４Ｂ’）の少なくとも一部の接触によって吸収される、支持部分（４６Ａ，４６Ｂ）を含むキャップ状カバーデバイス（６，２６）の使用。